

目標達成計画

作成日：平成 22年 8月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取り支援についての実績がなく、準備及び実行姿勢に戸惑いと不安感が完全に払拭できていない。	看取りについての知識を貪欲に深め、いつでも実行できる自信と段取り、ノウハウを習得するよう、一丸となって進めていく。	職員全員に、看取りの実現実践目標を設け、知識はもちろん実現に向けたノウハウを確実に習得できる意気込みと達成するための具体的な認識を醸成していく。	12ヶ月
2	13	懸命な利用者支援に沿い過ぎることで、現場のみの支援方法に偏っている傾向にあり、外部への視点が浅くなり、創造性、工夫や入居満足度へのこだわり等自立した業務姿勢に薄弱なところがある。	研修、連絡会、他事業所交流、地域への働きかけ、活動内容の周知活動、事業所からの発信等、外へ向けた視点と取り組み、そこから発揚される業務への広がりや自発性あふれる事業所を目指す。	更なる利用者満足、家族満足と快適生活を目指す為、特定の職員のみ外部アプローチを行うのではなく、全員が一丸となり情報を共有しながら、居の中からの脱却と、レベル向上を推し進め、楽しさ、快適さと活気あふれる事業所作りに取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。